

平成 28 年度 事業報告書

1. まえがき

この報告書は、平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の事業実績である。

2. 概 況

「アルカス SASEBO」の管理運営を行う指定管理者として、佐世保市から指定されるとともに、当年度の事業計画に基づき、地域文化の振興と育成、地域文化活動の活性化を目指し、設立の趣旨に沿った各種事業（自主・共催事業、コンベンション事業、ホールボランティア事業、友の会事業）を実施した。

3. 庶務報告

(1) 監査の実施

平成 28 年 5 月 6 日に平成 27 年度決算監査を実施した。

(2) 会 議

① 第 22 回理事会 （平成 28 年 5 月 13 日）

- ・平成 27 年度事業報告及び財務諸表について
- ・公益法人の事業報告等に係る提出書類について
- ・給与規程の一部改定について
- ・事務処理規程の一部改正について
- ・文書取扱規程の一部改正について
- ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

② 第 18 回評議員会 （平成 28 年 5 月 30 日）

- ・平成 27 年度事業報告及び財務諸表について
- ・公益法人の事業報告等に係る提出書類について
- ・理事の改選について
- ・評議員の改選について

- ③ 第 23 回理事会 （平成 28 年 5 月 30 日）
 - ・ 理事長（代表理事）の選定について
 - ・ 常務理事（業務執行理事）の選定について
 - ・ 常勤理事の報酬月額について（口頭説明）

- ④ 第 24 回理事会 （平成 28 年 10 月 3 日）
 - ・ 定款第 25 条第 4 項に基づく職務執行状況報告
 - ・ 平成 29 年度事業計画について
 - ・ 退職手当規程の制定について
 - ・ 給与規程の一部改定について
 - ・ 就業規程の一部改定について
 - ・ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

- ⑤ 第 19 回評議員会 （平成 28 年 10 月 11 日）
 - ・ 平成 29 年度事業計画について
 - ・ 評議員の改選について

- ⑥ 第 25 回理事会 （平成 29 年 2 月 3 日）
 - ・ 平成 29 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
 - ・ 給与規程の一部改定について
 - ・ 就業規程の一部改定について
 - ・ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

- ⑦ 第 20 回評議員会 （平成 29 年 2 月 14 日）
 - ・ 平成 29 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について

4. 事業報告（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）

平成 28 年度は、アルカス SASEBO の開館 16 年目、また指定管理者として第 3 期目の初年度となり、様々な新しい挑戦をスタートさせた。鑑賞事業として、音響の優れた中ホールを拠点とするオリジナル室内オーケストラ「チェンバー・ソロイスツ・佐世保」を結成。普及事業のレジデンス弦楽四重奏団「アルカス・クァルテット」、育成事業の「アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ」と共に、佐世保独自の文化事業として実施した。広報的にも、様々な公演に共通する一つのテーマを設けて広く告知し、より多くの集客を目指すアルカスオリジナルの「M プロジェクト」をスタートした。

自主・共催事業として 52 本を実施。うち鑑賞事業として 21 本、市民参加型事業として 31 本実施し、延べ 67,298 人の皆様にご来場いただいた。

（1）自主・共催事業（52 本）について（定款第 4 条第 1 項第 1 号関係）

鑑賞事業（21 本）

自主事業として 13 本、テレビ局、音楽事務所などとの共催事業として 8 本を実施。市民の皆様からのアンケート結果をふまえ、3 つのホールの特性を活かしながら様々な公演を行った。自主事業では、大ホールで、創立 70 周年の節目を迎えた「東京交響楽団」と「池辺晋一郎&N 響団友オーケストラ」の 2 つのオーケストラ公演のほか、世界の文化にふれる「ペレス・プラード楽団」公演や「トリニティ・アイリッシュダンス」公演、日本の古典芸能として 9 年ぶりとなる「人形浄瑠璃 文楽」公演を実施。中ホールでは、豊嶋泰嗣氏を音楽監督に迎えた、アルカスオリジナル室内オーケストラ「チェンバー・ソロイスツ・佐世保」が活動をスタートしたほか、世界的なフルート奏者エマニュエル・パユとベルリンフィルメンバーによる室内楽や、coba、渡辺香津美らによる「武満 徹 映画音楽の世界」、注目の若手ピアニスト「小林愛実」、ソプラニスタ「岡本知高」による質の高い文化芸術にふれる機会を提供した。イベントホールでは、恒例の「ジャズカフェ」、「アルカス映画祭」、「アルカス新春寄席」を実施。共催事業として、大ホールで、こまつ座による演劇公演「頭痛肩こり樋口一葉」、「ハワイアン・ミュージック」、「ヴィットリオ・グリゴロリサイタル」、「井上陽水」、「宝塚宙組」、「葉加瀬太郎」公演を行った。

市民参加型事業（31 本）

自主事業として 25 本、地元劇団、実行委員会、新聞社との共催事業 3 本、長崎県からの受託事業 1 本、佐世保市からの受託事業 2 本の計 31 本を実施。普及事業では、親子で楽しめる企画として演劇公演「わかったさんのクッキー」、「0、1、2 才のための人形劇『てるてるジョウくんとあそぼう！』」を実施。音楽公演では、「子どものためのピアノのひみつ基地」、ジュニアオーケストラ講師による「アルカス“キラっ都”させぼファミリーコンサート」、「0 才からのクラシック」を実施したほか、「アルカス・クァルテット」、「ランチタイムコンサート」、「ロビーコンサート」などを引き続き実施。育成事業の「アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ」は、『第 4 回定期演奏会』、合宿を実施したほか、有志が 3 年に一度開催される「ジュニアオーケストラ・フェスティバル」（新潟市）へ参加した。交流事業では地元茶道講師のご協力による「伝統文化佐世保子ども茶道教室」、市民に全館を開放して行う「アルカス九十九島音楽祭」、夏休みの子どもたちを対象にした「ホール探検ツアー」を引き続き実施。創造事業の「アルカス演劇さーくる」では『カンカン山んにき』の完全版を上演した。共催事業では普及事業として、熊本の劇団ゼロソーによる『父と暮らせば』、熊本、福岡、佐世保の 5 劇団による二人芝居を、交流事業として市民による実行委員会による「佐世保 JAZZ at アルカス SASEBO」、「長崎新聞クリスマスこども大会」を実施。長崎県からの受託事業として育成事業の「第 44 回長崎県新人演奏会」を、佐世保市からの受託事業として普及事業の「子どものための音楽鑑賞体験教室」、育成事業の「させぼ文化マンス」を実施した。

(2) 施設の維持管理及び管理運営業務について

(定款第4条第1項第2号関係・第5条第1項第1号関係)

芸術文化振興と地域活性化のための施設提供事業及び公益目的事業以外の施設提供事業と駐車場運営事業を行った。

区分	可能 日数	稼働 日数	稼働率	利用者数 (人)
大ホール	273	186	68.1	168,972
中ホール	289	173	59.9	30,489
イベントホール	293	190	64.8	45,033
大会議室	335	319	95.2	43,331
中会議室	335	322	96.1	12,455
小会議室	335	318	94.9	6,217
特別会議室	324	54	16.7	2,114
控室(応接室)	327	258	78.9	973
和室	327	240	73.4	8,216
茶室	278	36	12.9	450
第1リハーサル室	336	282	83.9	17,010
第2リハーサル室	335	263	78.5	18,351
練習室1	335	285	85.1	5,264
練習室2	335	301	89.9	6,069
練習室3	335	309	92.2	1,900
交流スクエア	332	268	80.7	66,989
ステッププラザ	320	55	17.2	37,226
アルカス広場	320	68	21.3	26,134
合計				497,193

施設提供事業については、利用者数が497,193人、施設利用料及び附属設備使用料収入は98,215,640円であった。

駐車場運営については、利用台数が30,567台、利用料収入は11,258,800円であった。

(3) コンベンション事業について

(定款第4条第1項第2号関係)

地域活性化に寄与するコンベンションについては、平成29年3月末で189件、約36万8千人の大会参加者を迎え入れることができた。

コンベンション開催の際は、式典・講演会を2,000人収容の大ホールで実施し、分科会を中ホール・会議室で行い、懇親会・展示会などはイベントホールを平土間（フラット）にして行うなどアルカス S A S E B O の施設特性を最大限活かした利用方法を提案している。

[平成28年度 コンベンション実績] 平成28年4月1日～平成29年3月31日

大会名	開催日	使用施設	参加 延人数
ライオンズクラブ国際協会 337-C 地区 第62回年次大会	4月17日	全館	760 人
第21回九州乳癌懇話会	5月12日	中ホール・イベントホール・会議室	60 人
第40回九州地区救護施設職員研究大会	7月7,8日	中ホール・イベントホール・会議室	200 人
第7回全国職員研修会（長崎大会）	7月14,15日	中ホール・会議室	500 人
第61回九州吹奏楽コンクール予選 長崎県吹奏楽コンクール	7月 24,26,27,31日	大ホール・イベントホール・会議室・ リハーサル室・その他	11,350 人
第71回九州合唱コンクール	9月9,10,11日	全館	6,800 人
日本家族研究・家族療法学会 第33回長崎大会 ワークショップ	9月18日	イベントホール・会議室	230 人
ねんりんピック長崎2016 テニス交流大会開始式	10月15日	大ホール・会議室・リハーサル室 その他	700 人
平成28年度長崎県高等学校総合文化祭	11月 11,12,13日	全館	4,350 人
		計 9 件	24,950 人

※平成29年3月31日現在

(4) ホールボランティア事業について
(定款第4条第1項第3号関係)

平成12年10月、アルカス SASEBO の自主事業を支援する市民参加型のホールボランティア制度を設け、手当は提供しないものとして募集を行い、活動をスタートした。愛称をサーブ (SAV: 佐世保・アルカス・ボランティアの略) と名づけ、主にチケットもぎりや、プログラム配布、客席案内などの公演運営に関わる活動を行っている。

財団職員による「事業説明会」を定期的を実施し、公演情報を取得し、ポスターやチラシを配布するなど、広報活動にも取り組んでいる。

また、外部講師を招いてのアナウンス研修や、フロントスタッフ研修も実施し、知識と技術向上を目指している。

ボランティアの自主的な活動と、コミュニケーション作りの場として「SAV 通信」をボランティア編集員の手により年4回発行しているほか、ボランティア同士が交流する場として「アミーチの会」も随時実施し、より良い活動になるよう取り組んでいる。

平成28年度は、シーハットおおむらのホールボランティアより、活動視察と交流の申し入れがあり、「人形浄瑠璃 文楽」公演での活動視察受け入れ後、意見交換会を行った。外部のボランティア組織からも、活動内容のレベルの高さを驚かれ、活発な意見交換が行われた。

このような SAV の活動を、情報紙「アルカス News」で紹介し、市民の皆様へ向けて PR することで、意欲の向上と、新規参加者の応募増につながるよう努めている。

これらの活動実績が認められ、平成27年度佐世保市教育委員会文化・スポーツ表彰、文化功労賞(団体)を受賞している。

平成29年3月31日現在の登録人数 55人

自主共催事業への参加	延べ活動数	32回	延べ参加人数	446人
自主共催事業以外の研修等への参加	延べ活動数	23回	延べ参加人数	359人

(5) 友の会事業について
(定款第5条第1項第2号関係)

アルカス SASEBO の会員組織であるアルカスクラブは、ゴールド、オレンジ、ホワイトの個人会員 3 種と、法人会員の計 4 種で運営してきたが、法人会員のチケット購入利用が少ないことを鑑み、平成 28 年度末で受付を終了、平成 29 年度末で廃止することとした。

会員向けとして好評の会員限定バスツアーでは、福岡県太宰府市の九州国立博物館における「特別展 京都 高山寺と明恵上人―特別公開 鳥獣戯画―」鑑賞ツアー、同福岡市の博多座における「十一月花形歌舞伎 石川五右衛門」観劇ツアーを実施。アルカス SASEBO の自主事業を多角的に紹介する「文化茶話」では、平成 28 年度の M プロジェクトのテーマである武満 徹の息女である武満真樹氏による「素顔の武満 徹」と題した講演会、人形浄瑠璃文楽公演のプレイベントとして波佐見町皿山人形浄瑠璃保存会による実演と解説を「人形浄瑠璃の見方・愉しみ方」と題して開催。自主事業鑑賞意欲増進への好機とした。

平成 29 年 3 月 31 日現在会員数 2,689 人 (法人会員 10 件 8 法人含む)

ゴールド会員 1,228 人 / オレンジ会員 510 人

ホワイト会員 941 人 / 法人会員 10 件 8 法人